

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 26 日

千葉市長 殿

提出者：丸善建設株式会社

住 所：千葉市美浜区幸町1丁目15番1号
望月ビル2階

氏 名：代表取締役 並木 隆博

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号：043-245-7181



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	丸善建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	千葉市美浜区幸町1丁目15番1号望月ビル2階
事 業 の 種 類	大分類：建設業 中分類：総合建設業 小分類：土木工事業 舗装工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

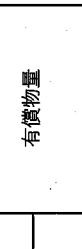
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	7,372 ^v 7,356t	全 处 理 委 託 量	7,372 ^v 7,356t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	7,372 ^v 7,356t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 アスファルトコンクリートがら)



項目	実績値
①排出量	1338.9t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1338.9t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	297t
⑫再生利用業者への処理委託量	1041.9t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

項目	実績値
①排出量	1338.9t
④自ら中間処理した量	6
④のうち熱回収を行った量	5
⑥自ら中間処理により減量した量	7
⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1338.9t
⑪のうち熱回収を行う業者以外の処理委託量	0
⑫のうち優良認定業者への処理委託量	0
⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	1041.9t
⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	297t

項目	実績値
②自ら直接利用した量	0
③自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量	1338.9t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	1338.9t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	1041.9t
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	297t
⑫のうち優良認定処理業者への処理委託量	0
⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

(産業廃棄物の種類 木くず)

計画の実施状況

有償物置

不要物等発生量

自ら直接利用した量
②

自ら直接埋め立て処分
又は海上投入処分した量
③

排出量
① 99.79t

①排出量	実績値 99.79t	自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑥	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑨	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑩	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑪	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑫
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	④のうち熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理により 減量した量 ⑦	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑪	99.79t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑬	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑭
⑤自ら熱回収を行った量	0	⑤のうち熱回収を行った量 ⑥	自ら中間処理により 減量した量 ⑧	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑪	99.79t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑬	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑭
⑦自ら中間処理により 減量した量	0	⑥のうち熱回収を行った量 ⑦	自ら中間処理により 減量した量 ⑨	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑪	99.79t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑬	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑭
③+⑨自ら埋立処分又は 海上投入処分を行った量	0	⑦のうち熱回収を行った量 ⑧	自ら中間処理により 減量した量 ⑩	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑪	99.79t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑬	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑭
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	7.34t	⑧のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑨	自ら中間処理により 減量した量 ⑩	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑪	99.79t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑬	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑭
⑫再生利用業者への処理委託量	92.45t	⑨のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑩	自ら中間処理により 減量した量 ⑪	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑪	99.79t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑬	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑭
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪	自ら中間処理により 減量した量 ⑫	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑪	99.79t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑬	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑭
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑪のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑫	自ら中間処理により 減量した量 ⑬	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑪	99.79t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑬	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑭

自ら中間処理した後
再生利用した量
③ 0

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ 92.45t

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量
⑪ 7.34t

(第2面)

)

(産業廃棄物の種類 汚泥

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

自ら直接利用した量
②

自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後 再生利用した量
③

項目	実績値	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 の処理委託量	自ら中間処理した後 の熱回収認定業者 への処理委託量	自ら中間処理した後 の熱回収を行う業者 への処理委託量
①排出量	4348.42t	④	⑥	⑨	⑪
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	④のうち熱回収を行った量	⑦	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑫
⑤自ら中間処理により 減量した量	0	⑤	⑥	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	⑥	⑧	⑪のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑭
⑩全処理委託量	4348.42t	⑦	⑨	⑫のうち再生利用業者への 処理委託量	⑮
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	6.21t	⑩	⑩	⑬のうち熱回収認定業者への 処理委託量	⑯
⑫再生利用業者への処理委託量	4342.21t	⑪	⑪	⑭のうち熱回収認定業者への 処理委託量	⑰
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑫	⑫	⑮のうち熱回収認定業者への 処理委託量	⑱
⑭熱回収を行う業者への 処理委託量	0	⑬	⑬	⑯のうち熱回収を行う業者 への処理委託量	⑲
⑮熱回収を行う業者への 処理委託量	6.21t	⑭	⑭	⑰のうち熱回収を行う業者 への処理委託量	⑳

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 廃プラスチック)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接利用した量

自ら直接受理し立て別分 又は海洋投入処分した量	③
排出量	1.93t

項目	実績値
①排出量	1.93t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら処理立替又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.93t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.93t
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熟回収認定業者への処理委託量	0
⑭熟回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後
再生利用した量 ⑧ 0

自ら中間処理した後 再生利用した量	(8)	0
自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海浜投入処分した量	(9)	
直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	(10)	1.93t
(10)のうち再生利用業者 への処理委託量	(11)	0
(10)のうち熱回収認定業者 への処理委託量	(12)	
(10)のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行つ業者 への処理委託量	(13)	
(10)のうち優良認定処理 業者への処理委託量	(14)	

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類ガラス・コンクリート・陶器くず)

量物償

量等発生物不不要

不要物等発生量

0.88t

自ら直接理め立て処分
又は海洋投入処分した量

項目	実績値
①排出量	0.88t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦の①から中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海上洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.88t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.88t
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行つう業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。